

平成24年5月29日(火)

資料3 - 9



第2回科学技術外交戦略タスクフォース (第4期)に係る施策レビュー

【施策一覧】

2. 重要課題達成のための施策の推進

(3) 地球規模の問題解決への貢献

・温室効果ガス観測技術衛星「いぶき (GOSAT)」による地球観測事業 / 観測体制 (P2 ~)

4. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

(1) アジア共通の問題解決に向けた研究開発の推進

・地球環境に関するアジア太平洋地域共同研究・観測事業拠出金 (P4)

・東アジア酸性雨モニタリングネットワーク将来発展事業 (P5)

(2) 科学技術外交の新たな展開

先端科学技術に関する国際活動の推進

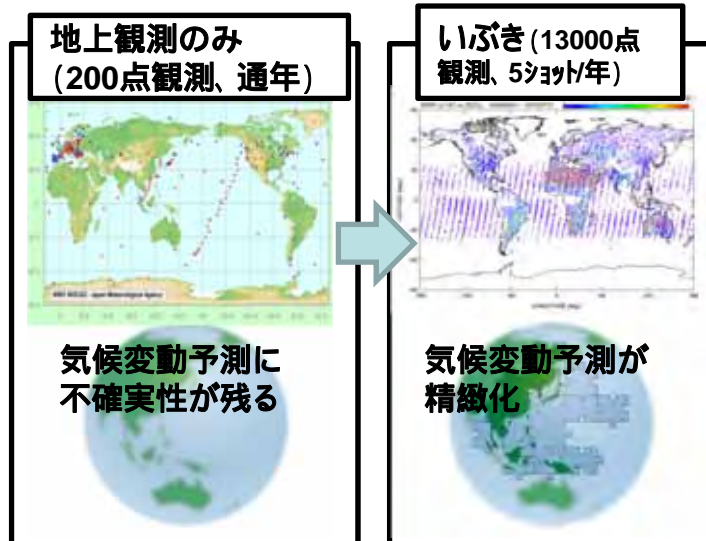
・低炭素社会国際研究ネットワーク事業 (P6 ~)

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき (GOSAT)」 による地球観測事業

世界で唯一の温室効果ガス観測技術衛星・いぶきの使命

- ・二酸化炭素やメタンの全球的な挙動の解明。
- ・地域別の温室効果ガス吸収・排出量の推定精度の高度化

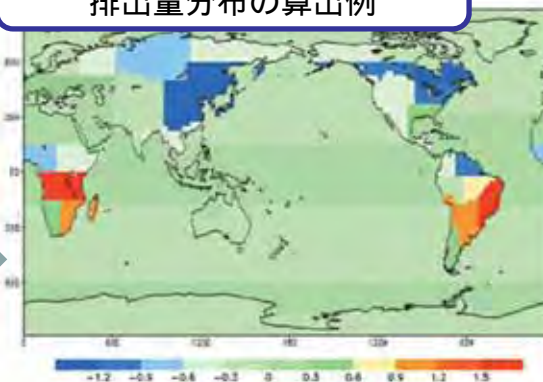
- ・気候変動予測の精緻化に貢献
- ・各種国内・外交政策に貢献



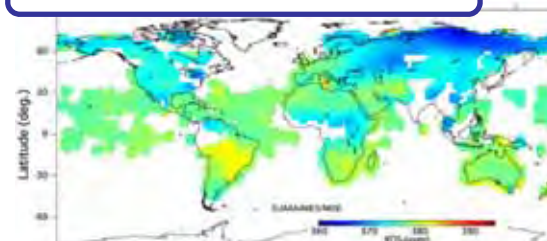
GOSATの観測データを検証・補正し、研究や政策への利用に耐える精度を維持



全球の二酸化炭素の吸収・排出量分布の算出例



全球の二酸化炭素の濃度分布

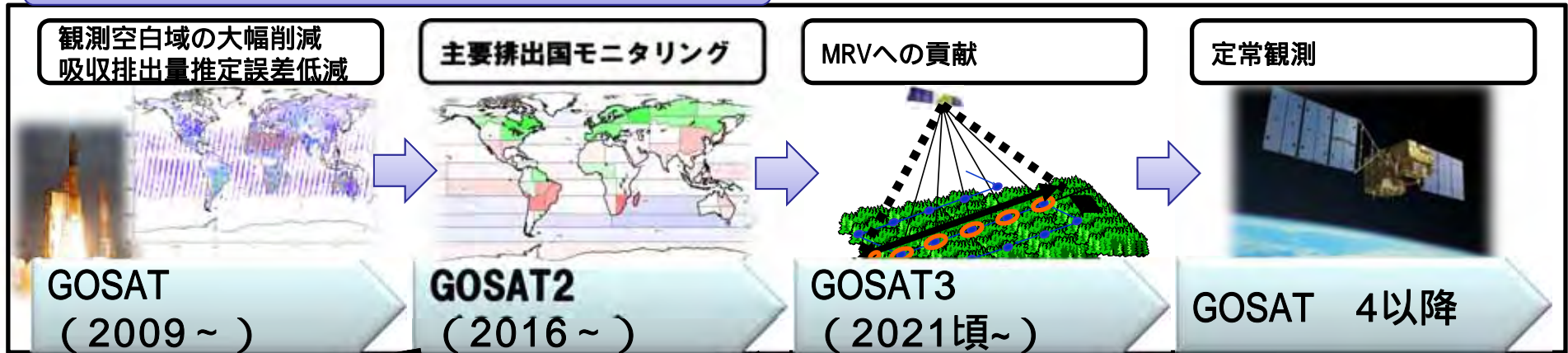


国際連携

- ・GEO, GEOSS, GCOSへの貢献
- ・GOSAT研究公募を運営 国内外の研究者にGOSATの成果をアピール

いぶき (GOSAT) シリーズの戦略的活用

GOSATシリーズの目指すもの



GOSAT2で何を達成するか

- ・ 主要排出国吸収排出（正味）動向のモニタリング（中国、米国、ロシア、インド等）
観測精度の向上、（ $\pm 4\text{ppm}$ $\pm 0.5\text{ppm}$ ）
吸収排出量算出精度の向上
大陸サイズの国は国境で吸収排出量（正味）を計算
- ・ 特別観測による機動的モニタリング
大規模排出源の監視（大規模工業地帯等）
REDD+の効果のモニタリング

国際連携の強化

国際的な衛星データの検証体制を構築し、大規模な排出国の正味の吸収排出量の変化を観測し、MRVに貢献することを目指す。

- 2012年1月：第4回日米宇宙政策協議（民生・商業利用）（ワシントン）でGOSAT2-OCO2の共同検証のための2国間プラットフォーム構築を提案
同協議のアクションアイテムの一つに。
- 2012年4月：日米首脳会談共同ステートメントにてGHG観測等の地球観測分野での協力について言及

開発体制

環境省・宇宙航空研究開発機構（JAXA）・国立環境研究所（NIES）で協調し、GOSAT2開発を今年度より開始。

5月16日、JAXA内でプリ・プロジェクト化に向けた準備審査を通過